

器の導入援助、サテライトオフィスの情報提供等が考えられる。本市としても企業誘致、雇用確保の観点から、国の動向やテレワークの需要などの状況を見て調査検討をしたい。

**問** 佐賀県では平成26年から全庁4,000人の職員を対象に全庁テレワークを導入され、本市でも整備を進めてもらいたい。本市の子育て世帯の職員の性別人数、また介護をしている職員の状況は。

**答** 本市の子育て世帯の20歳から49歳の職員は713名で、20歳から29歳は男性81名、女性116名、合計197名。30歳から39歳は男性142名、女性94名、合計236名。40歳から49歳は男性199名、女性81名、合計280名。介護している職員はいるが実態までは把握していない。

**問** テレワークは本市職員の子育てや介護、病気等、雇用の継続や効率化、また大規模災害による出勤困難時の業務継続にも大きな効果を発揮し、大手企業も順次実施をしているが、市長のテレワークに対する考えは。

**答** テレワークに向いている業務と向いていない業務は

つきりしており、当市で一番多い業務は市民対応等の現場対応であり、テレワークに向かない。テレワークを積極的に推進することは檀原市スタイルではなく、少し控えたいと考えている。

### 食品のロス削減に向けた取り組み

**問** 日本の食品廃棄物は年間1,700万トンに上り、食べられるのに捨てられる食品ロスは年間約642万トンと推計をされており、これは日本の米生産量約850万トンに近い量であり、一人当たりおにぎりを毎日2個捨てている計算になる。そのうち約半分は事業者、半分は家庭から出ており、政府は食品会社などと協力をして削減に取り組んでいるが、大きな成果は出していないのが現状である。給食等での食べ残し残量、学校教育等での食育推進と給食等の食品ロス削減への取り組みを聞きたい。

**答** 昨年度の学校給食の副食の残食量は約19トン、残食率3.7%である。学校給食は食に関する正しい知識と判断

力を身につけ、自然の恵みに感謝し、環境の大切さなどを学ぶ食育の場である。各学校では日ごろから栄養士、栄養教諭、担任から給食をしっかりと食べる指導を行なっている。また子どもの給食委員会活動で、給食の残量を見てもったいないと感じたことをきっかけに、食べ残しを減らすべく、完食した学級に賞状を渡す取り組みを行っている学校もある。さらに今年度から学校ボランティア交流事業で、地域の方々と一緒に給食を食べることが食べ物を大切にすることを学ぶよい機会になればと考えている。保育所、こども園では日々の子どもの出席数や前年度同月の出席率、感染症などの流行も考慮して給食物資を発注しており、ほとんど食品ロスが出ない状況である。また年間の食育計画を立て、年齢ごと、季節ごとに菜園活動等に取り組み、自分で育てた野菜や果物などを料理して食べることで食に対する保育、教育を実践している。

**問** フードバンク制度を活用して食料を必要とする人や施設等に届ける仕組みが必要と考えるが、本市社会福祉協

会のフードレスキュー事業、またフードバンク制度の導入について聞きたい。

**答** フードバンク活動は賞味期限が近いなど品質に問題はないが通常の販売が困難な食品、食材をNPO等が食品メーカー等から引き取り、福祉施設等へ無償提供するボランティアである。よく似た事業として、昨年5月から県社会福祉協議会が奈良県フードレスキュー事業を行なっており、当市窓口を檀原市社会福祉協議会が担っている。フードバンク活動は食品ロス削減が主目的であるのに対し、フードレスキュー事業は生活に窮迫した相談者への緊急食糧支援を目的としている。

**問** 市民に向けての啓発運動等について聞きたい。

**答** 広報誌やホームページ等を活用して普及啓発活動をしている。また学童期から高齢者まで幅広い層に向けて、食品ロスや環境問題等を含む食育をテーマとした講座やセミナー等を実施している。例えば小学生向けに消費者スクール、エコクッキング等を実施している。またフードバンク大阪から講師を迎え、全国

各地の食品ロス削減のボランティアやフードバンク活動についての講座を予定している。

**問** 食品ロスの食料を災害時に活用できるか。

**答** 本市の備蓄用食料は保存期限が5年以上のものであり、期限が迫っているものは備蓄にはそぐわず、また期限に余裕がある缶詰等も回収・仕分け等に要する経費からみて適当ではないと考えている。

**問** 食品のロス削減の取り組みについての市長の考えは。

**答** 食品ロスの対策は学校の食育の中で行なっている。いろいろな方々と給食を食べることは非常に大事で、そこで嫌いな食べ物でもこれは体にいいものなんです。いろいろな会話をしてもらえば、

食品ロス削減国民運動ロゴマーク  
愛称「ろすのん」

